

新有田市立病院建設工事設計プロポーザル審査結果

令和4年12月19日

1. 本審査実施日 令和4年12月18日（日）
2. 最優秀提案者 内藤・三谷設計共同企業体
3. 総合獲得点数 574点/800点
4. 提案者数 1者
5. 講評

将来の診療機能の拡張を考慮し、動線軸の確保や個室への転換を見据えた病室など、今後の状況変化に対応できる提案であった。建設費に関しては、仕様書記載の概算工事費より提案のあった工事費は高額であったが、提案者は病院建設工事設計の実績が多数あり、その経験を活かし工事費削減に対して柔軟に検討できると思われる。災害時に重要と考えられる医療機能については、洪水時等の浸水への対応や災害拠点病院としての機能を考慮した提案であった。感染症への対応として、第二種感染症指定医療機関の要件を満たす構造提案であるとともに、感染状況に応じて感染症対応エリアを拡大できるものとなっており、新興感染症への対応も行えるものであると思われる。ヘリポートの設置に関しては、進入区域や患者搬送の観点から考慮した提案であった。提案内容、企業規模・実績等に対する各委員の評価として、総合点数の約71%を獲得しており、信頼できるものと判断できるため、優秀者であるとの結論に至る。